

高校生による 高校生のための

さがものづくり企業だより

発行!!

佐賀県のものづくり企業を、高校生ライターが取材。

編集者による講義・コーチングを通して、企画から取材術、記事制作の方法を学びながら完成させた「かわら版」と「WEB記事」の配布・公開をスタートしました!

さがものづくり企業だよりとは?

佐賀県にあるものづくり企業のことを、県内の高校生にもっと知ってほしい!という思いから企画された「高校生ライタープロジェクト」の成果物として発行。県内の高校生7チーム、21人が高校生ライターとして実際に県内のものづくり企業を取材・撮影し、記事を執筆しています。チームごとに表現したい内容に応じ、県内高校で配布される「かわら版」、オンラインで閲覧できる「WEB記事」の2種類の形式で発表しました。

プロジェクトのあゆみ

2022 9月	募集開始 県内の高校に募集開始
10月	メンバー決定 応募者の中から審査を行い、プロジェクトメンバーを決定
11月	講義 編集者・ライター・カメラマンによる講義を受けて、記事制作の流れや基本的な技術を学ぶ
12月	取材準備 取材する企業のリサーチ。なにを伝えるべきか?を企画や質問案を何度も作り直す
2023 1月	取材 実際に企業へ行き取材と見学をする。聞きたかったこと、知りたかったことは聞けていたのか?自問自答しながら粘り強く質問!
2月	記事制作 インタビューで話した内容を書き起こし、記事の形にしていく。編集者のチェックを受け、構成や文章に仕上げる作業
3月	完成 半年間のプロジェクトの集大成となる「かわら版」WEB記事が完成

高校生ライターが取材した 企業 & 記事一覧

「さがものづくり企業だより」はここで読める!

公式note
<https://note.com/sagamonodukuri>

かわら版
2023年4月~県内高校にて配布
上記公式noteからもPDF閲覧が可能です。

かわら版 唯一無二の技術で挑戦する“ガラスの料理人”

担当高校生ライター / 唐津東高校
3年 古川 詩乃 3年 江川 叶苗

編集後記より一部抜粋
振り返れば、半年前からテスト期間でも勉強の合間を縫ってミーティングを重ね、細かく取材の計画を立て、文章を考えてきました。とても大変でしたが、不思議とそれが苦にならなかったのは、なにより楽しかったからだと思います。活動を通して、工業製品や出版物に留まらず、身近なモノたちにはたくさんの方の思いが詰まっているのだなと少ししみじみと実感することができました。(古川 詩乃)



かわら版 半導体を支える15マイクロメートルの大黒柱

伝えられた情報を“つなぐ”線

担当高校生ライター / 鳥栖高校
3年 青木 茉依 3年 佐藤 真紀
3年 中村 紗和

編集後記より一部抜粋
われわれ一同は田中電子工業への取材を行うまで、ボンディングワイヤという名前を耳にしたことはなかった。しかし企業の方にお話を伺うと、半導体に組み込まれている製品ということで結構身近に存在している...というか、かなりお世話になっていた。親の顔を知らないまま生活していたような驚きである。われわれの生活を支えているのは、きっと彼らのような名前が一般にあまり知られていない製品たちなのだろう。(青木 茉依)



WEB 佐賀から世界へ!

半導体作りの最前線に立つ JSRマイクロ九州「世界シェア1位」の秘密に迫る

担当高校生ライター / 佐賀西高校
3年 森園 耕平 3年 副島 浩也
2年 百武 拓哉 2年 半田 秀賢

編集後記より一部抜粋
私たちに最も印象的だったのが「努力の量が世界一だから」という社長の言葉だ。最近「最小限の努力で、最低ラインを超えたいらばいい」という考え方をよく目にする。そんな考え方を聞きすぎて、私たち自身、その考え方に吞まれかけていたことに、取材を通して気づくことができました。(森園 耕平)

かわら版 「ガラスの可能性」を見た・聞いた!!

浜新硝子取材記録!

担当高校生ライター / 佐賀北高校
2年 小池 菜々美 2年 久保田 咲羽

編集後記より一部抜粋
企業訪問を通して感じたのは、豊かで便利な生活が企業の「試行錯誤」や「お客様への思いやり」があるからこそ成り立っているということです。お客さまの要望に応えることを大切に、難しい注文にもひたむきに挑戦する浜新硝子さんへの取材から、ガラスの技術だけでなく、一人一人のお客様に真摯に向き合う姿勢を教えていただきました。(小池 菜々美)

WEB 今注目の八雲製作所に高校生が取材!

老舗メーカーの4代目はいかにして「社員あってこそその会社」と言えるようになったか

担当高校生ライター / 佐賀西高校
3年 原 颯佑 2年 居石 悠汰 2年 園田 浩司

編集後記より一部抜粋
調べ始めたときは、社長が私たちと同じ佐賀西高校出身であり、多岐にわたる改革を行っているという記事を見たことから、独断的な人なのかと思っていました。現在は人と人の関わりも大切にしているということが分かりました。僕も人と人の関わりを大切にしようと思って働きたいと思いました。(原 颯佑)



佐賀市 JSRマイクロ九州株式会社

WEB 企業はなぜ「CSR活動」をするのか?

森永デザートに聞いてみた

担当高校生ライター / 武雄高校
3年 北川 輪 +他メンバー

編集後記より一部抜粋
私たちが高校生が考えたCSR活動の企画に対して森永デザートの担当者さんが真剣に向き合ってくれたことがとても嬉しく、たくさん興味深いお話を聞くことができました。特に、安売りを続けることでその商品の価値が下がってしまうということは考えたことがなく、商品売ることの難しさを知りました。(北川 輪)



小城市 友桝飲料 株式会社

「他の人より一歩先んじる」のモットーと共に 事業成功の鍵は「暇だったこと」!

担当高校生ライター / 佐賀西高校
3年 山口 泉緒 3年 嘉村 咲
3年 江頭 由奈 3年 横尾 朋佳

編集後記より一部抜粋
友桝飲料を調べていく中でも印象的だったのは、友田社長の「自分たちしかできないことをする」という言葉。インタビューの中では、「10人中9人が響く商品ではなく、10人中1人にとって特別な商品を作ると話してくださいました。1人でも求めてくれるなら、その1人に届ける。なんだかヒーローみたいですね。これからは、友桝飲料は「こんな飲み物を作りたいと思うすべての人たちにとってのヒーロー」で居続けたいです。(山口 泉緒)



記事はWEBで読めるよ! / さがものづくり企業だよりで検索

のいい思い出や経験として、大学受験やその先につながる自分の強みとして残してほしい! / そして読者の高校生のみならず、まず「同年代が取材して書いてくれる」デザインが気になる、といったことから興味を持って読んでほしいです! / このプロジェクトが、高校生とものづくり企業との接点になれればこんなに嬉しいことはないです!

「信じて」というテーマが生まれました / 実際に高校生たちと記事を作っていく中で感じたのは、「高校生だから聞けることがある」ということです / 企業のみならず、一般の取材では聞けないような質問内容であっても真摯に答えてくださいました / 普段はカメラの持ち込みが禁止されている部屋でも、資料用にと持ち込みを許可していただきました!